

2022 年度の講義概要のデータベースを検索します。

学部・研究科 Faculty/Graduate School	商	時間割コード Course Code	40902
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	統計解析演習	授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	秋/2
担任者名 Instructor	高橋 雄介	曜限 Day/Period	月2

授業概要 Course Description 到達目標 Course Objective	授業種別 / Teaching Types
	演習（対面型）
	言語 / Language
	日本語(Japanese)
	授業概要 / Course Description 実証的な研究を正しく理解するためには、統計に関する理解が必要不可欠です。この講義では、さまざまな統計手法についてその統計分析が何を意味するのかを説明してきます。具体的に検討する統計用語・手法については各回のテーマを参照して下さい。具体的には、「統計とは何か」、「平均とは何か」、「有意とはどういうことか」といった基礎的な事項の確認から始め、授業中に実際に統計のソフトウェアを用いた実習を行いながら、「統計で何が言えるのか」、「統計で何が言えないのか」を理解します。 学位授与方針 / DP （商学部） 1.知識・技能 ③ 専修に関わる専門知識の修得。 2.思考力・判断力・表現力等の能力 ①ビジネス・経済・社会に対する広い視野と鋭い洞察力をもつ。 ②企業倫理と社会的責任を深く認識し、品格をそなえたリーダーシップと「考動力」を発揮できる。 3.主体的な態度 自ら諸問題を発見し、主体的かつ柔軟に取り組むことができる。 到達目標 / Course Objectives この演習・講義にはふたつの目標があります。ひとつめの目標は、実証的な研究報告に触れた時に、そこで用いられている統計手法が何を意味するのかを理解し、研究結果を正しく理解できるようになることです。ふたつめの目標は、演習と講義を通じて、卒業論文を書く際に、教科書や資料を自分で参照しつつ、適切な統計手法を選ぶことのできる力を付けることです。 授業手法 / Teaching Methods ・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック ・学生同士の意見交換（グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む） ・統計のソフトウェアを用いた実習
授業計画 Course Content	授業計画 / Course Content
	第1回 尺度水準(講義) 第2回 基本統計量(講義) 第3回 基本統計量(実習) 第4回 統計的仮説検定(講義) 第5回 統計的仮説検定(実習) 第6回 相関係数(講義) 第7回 相関係数(実習) 第8回 t検定・カイ二乗検定 第9回 分散分析(講義) 第10回 分散分析(実習) 第11回 単回帰分析(講義) 第12回 単回帰分析(実習) 第13回 重回帰分析(講義) 第14回 重回帰分析(実習) 第15回 まとめ・総合演習
	授業時間外学習 / Expected work outside of class
	演習は講義の基礎知識に基づいてデータの加工や統計分析を行うため講義の内容を理解するように十分に復習をしておくこと。
成績評価の方法・基準 Grading Policies / Evaluation Criteria	方法 / Course Content
	定期試験を行わず、平常試験(小テスト・レポート等)で総合評価する。 小課題80％，最終課題20％
	基準 / Evaluation Criteria

	成績の評価は、本演習・講義の目標をどれくらい到達できたかを評価し、原則として最終課題と平常課題を総合的に判断する。
教科書 Textbooks	
参考書 References	
フィードバックの方法 / Feedback Method	
担任者への問合せ方法 / Contacts	オフィスアワーは特に設定しないので必要に応じてメールでアポイントメントを取ること。メールアドレスは授業時に伝達する。
備考 Other Comments	